

96 . 刑法犯認知件数

(単位:件)

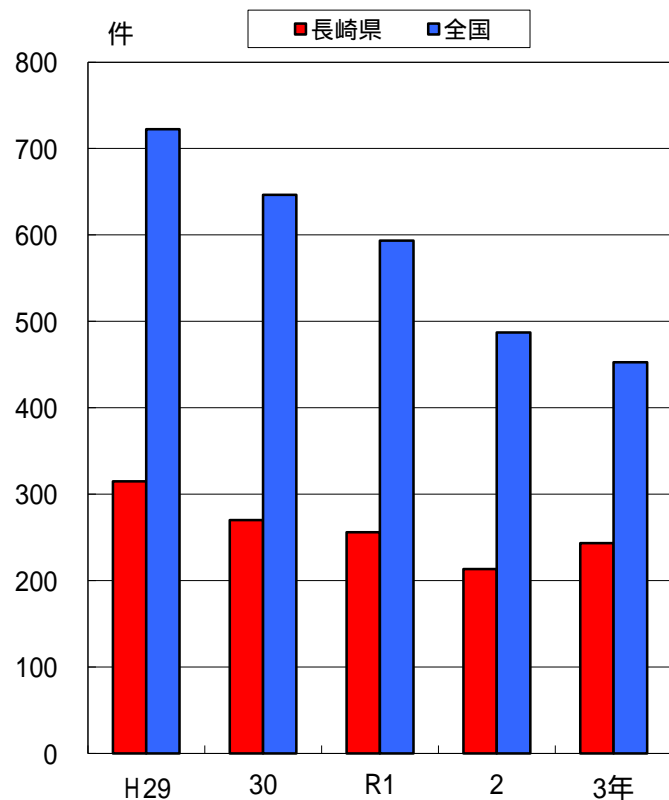
順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和3年(2021年)
1	27 大阪府	711.9
2	28 兵庫県	552.3
3	11 埼玉県	547.2
4	13 東京都	537.4
5	12 千葉県	520.1
6	40 福岡県	514.0
7	23 愛知県	503.3
8	8 茨城県	500.7
9	21 岐阜県	483.4
10	10 群馬県	471.3
11	9 栃木県	469.8
	全 国	452.7
12	16 富山県	443.3
13	38 愛媛県	439.4
14	24 三重県	422.1
15	39 高知県	418.0
16	25 滋賀県	412.2
17	4 宮城県	410.4
18	26 京都府	409.3
19	37 香川県	403.4
20	34 広島県	402.2
21	33 岡山県	401.6
22	22 静岡県	400.3
23	47 沖縄県	397.2
24	29 奈良県	391.4
25	7 福島県	365.7
26	30 和歌山県	362.3
27	14 神奈川県	360.0
28	18 福井県	356.9
29	15 新潟県	355.8
30	1 北海道	355.6
31	31 鳥取県	350.5
32	41 佐賀県	350.0
33	19 山梨県	341.2
34	45 宮崎県	333.1
35	36 徳島県	331.8
36	17 石川県	303.0
37	43 熊本県	300.1
38	46 鹿児島県	294.4
39	20 長野県	293.1
40	35 山口県	291.6
41	6 山形県	289.4
42	32 島根県	278.1
43	44 大分県	259.1
44	2 青森県	251.1
45	42 長崎県	243.3
46	5 秋田県	210.0
47	3 岩手県	209.5

全国で3番目に少ない長崎県

令和3年の本県の刑法犯認知件数は3,155件で前年を356件上回ったが、全国の452.7件を209.4件下回る、全国45位であった。

刑法犯認知件数の推移

(人口10万人当たり)



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

警察庁「犯罪統計」

総務省「人口推計」

調査時点

令和3年

算出方法等

刑法犯認知件数(人口10万人当たり) =

刑法犯認知件数 ÷ 総人口 × 10万

97. 交通事故発生件数

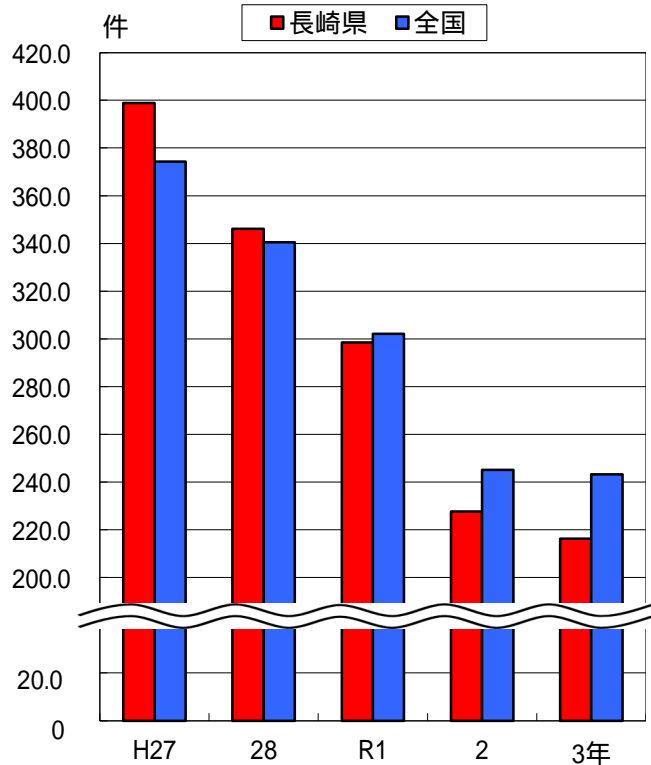
(単位:件)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和3年(2021)
1	22 静岡県	537.3
2	10 群馬県	519.4
3	41 佐賀県	435.0
4	45 宮崎県	420.4
5	40 福岡県	391.6
6	37 香川県	348.9
7	23 愛知県	321.8
8	28 兵庫県	311.6
9	6 山形県	301.8
10	36 徳島県	297.9
11	27 大阪府	288.3
12	19 山梨県	259.9
13	33 岡山県	249.6
	全 国	243.2
14	20 長野県	234.7
15	14 神奈川県	234.5
16	11 埼玉県	227.6
17	46 鹿児島県	224.1
18	29 奈良県	223.3
19	42 長崎県	216.2
20	12 千葉県	215.7
21	44 大分県	211.8
22	8 茨城県	207.9
23	9 栃木県	205.0
24	25 滋賀県	202.1
25	2 青森県	201.3
26	13 東京都	197.0
27	16 富山県	192.2
28	47 沖縄県	189.5
29	4 宮城県	187.1
30	35 山口県	185.2
31	43 熊本県	184.5
32	17 石川県	173.0
33	38 愛媛県	171.1
34	34 広島県	167.5
35	7 福島県	165.4
36	1 北海道	160.2
37	30 和歌山県	155.3
38	24 三重県	155.0
39	39 高知県	152.9
40	26 京都府	150.7
41	21 岐阜県	148.4
42	5 秋田県	137.7
43	3 岩手県	130.9
44	15 新潟県	130.8
45	18 福井県	119.9
46	32 島根県	116.4
47	31 鳥取県	112.6

全国を下回る本県の交通事故

本県の令和3年の人口10万人当たり交通事故発生件数は、216.2件(全国243.2件)で全国19位となっている。

交通事故発生件数の推移
(人口10万人あたり)



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

県警察本部「交通統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和3年

算出方法等

交通事故発生件数(人口10万人当たり) =
交通事故発生件数 ÷ 総人口 × 10万

備考

「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定されている道路上において、車両(自動車・原動機付自転車・軽車両・トロリーバス)、路面電車及び列車の交通によって起こされた死亡又は負傷を伴った事故(人身事故)をいう。

98. 交通事故死者数

(単位:人)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和3年(2021)
1	36 徳島県	4.5
2	19 山梨県	4.0
3	37 香川県	3.9
4	38 愛媛県	3.8
5	39 高知県	3.7
6	24 三重県	3.5
7	31 鳥取県	3.5
8	18 福井県	3.4
9	30 和歌山県	3.4
10	44 大分県	3.2
11	21 岐阜県	3.1
12	33 岡山県	3.0
13	46 鹿児島県	3.0
14	29 奈良県	3.0
15	5 秋田県	3.0
16	3 岩手県	2.9
17	9 栃木県	2.9
18	41 佐賀県	2.9
19	16 富山県	2.8
20	45 宮崎県	2.8
21	8 茨城県	2.8
22	7 福島県	2.7
23	25 滋賀県	2.6
24	10 群馬県	2.6
25	35 山口県	2.6
26	34 広島県	2.5
27	22 静岡県	2.5
28	2 青森県	2.4
29	1 北海道	2.3
30	17 石川県	2.3
31	6 山形県	2.3
32	43 熊本県	2.3
33	20 長野県	2.2
34	15 新潟県	2.2
	全 国	2.1
36	28 兵庫県	2.1
37	42 長崎県	2.1
38	26 京都府	2.0
39	40 福岡県	2.0
39	12 千葉県	1.9
40	4 宮城県	1.8
41	47 沖縄県	1.8
42	11 埼玉県	1.6
43	27 大阪府	1.6
44	23 愛知県	1.6
45	14 神奈川県	1.5
46	32 島根県	1.5
47	13 東京都	0.9

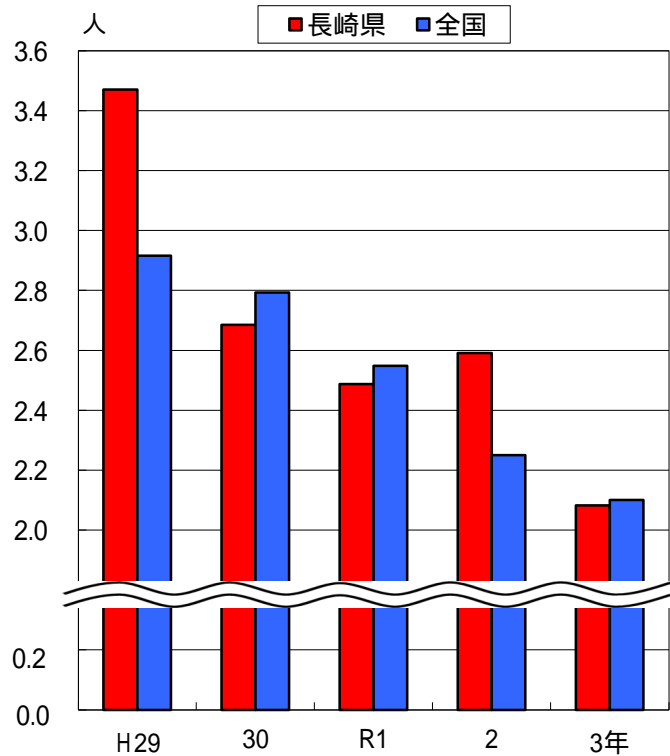
人口10万人あたり交通事故死者数は2.1人

本県の令和3年交通事故死者数は、27人で前年より7人減少した。全国では2,636人で前年より203人減少した。

人口10万人あたりの交通事故死者数は、本県は2.1人で、全国37位となっている。

交通事故死者数の推移

(人口10万人当たり)



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

県警察本部「交通統計」
総務省「人口推計」

調査時点

令和3年

算出方法等

交通事故死者数(人口10万人当たり) =
交通事故死者数 ÷ 総人口 × 10万

備考

交通事故死者数は、交通事故の発生後24時間以内に死亡した人の数。

99. 火災発生件数

(単位:件)

順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和2年(2020)
1	46 鹿児島県	42.0
2	45 宮崎県	41.3
3	44 大分県	40.3
4	32 島根県	40.1
5	36 徳島県	39.7
6	2 青森県	38.9
7	35 山口県	38.2
8	20 長野県	37.8
9	19 山梨県	37.5
10	39 高知県	37.2
11	8 茨城県	36.7
12	33 岡山県	36.5
13	41 佐賀県	35.9
14	43 熊本県	34.7
15	24 三重県	34.7
16	1 北海道	33.8
17	37 香川県	33.6
18	10 群馬県	33.0
19	31 鳥取県	32.0
20	5 秋田県	31.9
21	30 和歌山県	31.9
22	29 奈良県	31.6
23	47 沖縄県	31.3
24	3 岩手県	31.1
25	9 栃木県	31.0
26	21 岐阜県	30.9
27	42 長崎県	30.0
28	6 山形県	28.8
29	4 宮城県	27.9
30	38 愛媛県	27.9
31	28 兵庫県	27.5
32	7 福島県	27.4
33	25 滋賀県	26.9
34	13 東京都	26.5
35	12 千葉県	26.3
36	34 広島県	26.3
37	23 愛知県	24.8
38	22 静岡県	24.2
39	40 福岡県	24.0
40	15 新潟県	23.3
41	18 福井県	22.4
42	11 埼玉県	21.6
43	27 大阪府	21.5
44	14 神奈川県	19.5
45	17 石川県	19.0
46	26 京都府	18.9
47	16 富山県	16.6

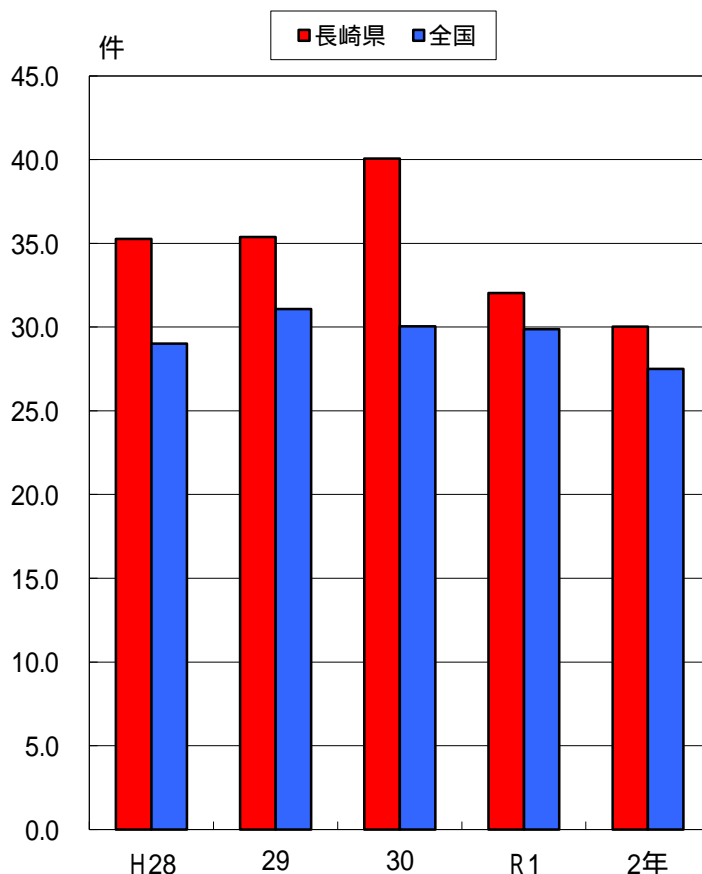
2年連続減少

令和2年中の火災発生件数を見ると、本県は394件、全国では34,691件であった。

また、人口10万人当たりでの火災発生件数は、全国27.5件に対し、本県は30.0件と全国を上回った。

火災発生件数の推移

(人口10万人当たり)



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

総務省消防庁「消防白書」
総務省「令和2年国勢調査結果」

調査時点

令和2年

算出方法等

火災発生件数(人口10万人当たり) =
火災発生件数 ÷ 総人口 × 10万

100. 消防分団数

(単位: 団)

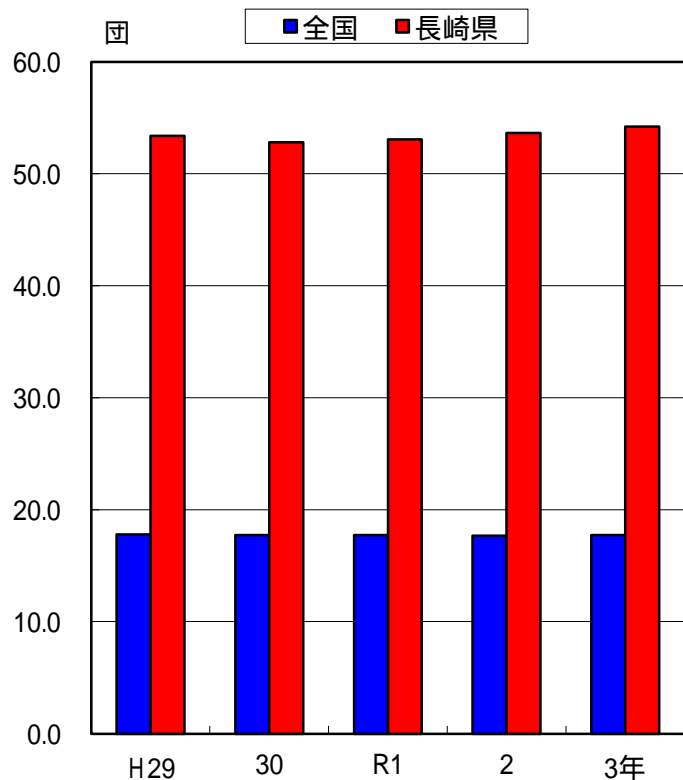
順位	都道府県名	人口10万人当たり 令和3年(2021)
1	2 青森県	63.7
2	36 徳島県	59.1
3	42 長崎県	54.2
4	32 島根県	48.3
5	31 鳥取県	41.9
6	46 鹿児島県	40.3
7	39 高知県	39.0
8	44 大分県	37.4
9	5 秋田県	36.8
10	8 茨城県	36.4
11	3 岩手県	35.9
12	43 熊本県	34.9
13	30 和歌山県	33.6
14	18 福井県	31.2
15	16 富山県	30.9
16	7 福島県	30.9
17	6 山形県	30.8
18	20 長野県	30.0
19	35 山口県	28.2
20	38 愛媛県	27.6
21	19 山梨県	27.4
22	15 新潟県	25.6
23	37 香川県	25.2
24	24 三重県	24.9
25	41 佐賀県	24.7
26	33 岡山県	23.6
27	21 岐阜県	22.9
28	29 奈良県	22.8
29	28 兵庫県	22.4
30	17 石川県	22.3
31	10 群馬県	21.8
32	4 宮城県	21.0
33	1 北海道	20.3
34	34 広島県	19.2
	全 国	17.7
35	26 京都府	16.6
36	25 滋賀県	16.0
37	22 静岡県	15.9
38	9 栃木県	14.9
39	40 福岡県	14.0
40	45 宮崎県	13.5
41	12 千葉県	12.3
42	47 沖縄県	8.9
43	11 埼玉県	8.5
44	23 愛知県	8.0
45	14 神奈川県	5.8
46	13 東京都	5.1
47	27 大阪府	4.6

全国3位の長崎県

令和3年の本県の消防分団数は703団で、人口10万人当たりでは54.2団と、全国の17.7団を大きく上回っている。

消防分団数の推移

(人口10万人当たり)



資料出所・調査時点・算出方法等

資料出所

総務省消防庁「消防白書」
総務省「人口推計」

調査時点

令和3年4月1日(消防分団数)
令和3年10月1日(総人口)

算出方法等

消防分団数(人口10万人当たり) =
消防分団数 ÷ 総人口 × 10万